



多摩市



資料 17

# 意見分類にあたっての視点について

## 1 意見分類にあたっての視点

### (1)意見の種別を踏まえ以下に分類

- ①市民の状態・意識など（例：元気、いきいき、豊か など）
- ②市民の行動（例：声を掛け合う、理解する など）
- ③まちの状態（例：デジタルが進むまち など）

※③はさらに目指すまちの姿との結びつきを意識して細分化

### (2)『多摩市の総合計画』として意識すべき要素＝策定方針との関係の整理 【基本的な考え方】

- ・2030年度はSDGsやカーボンハーフの目標年度であることから、本市としても、この目標達成に向けた取組みを推進していく。

#### <基本構想>

- ・長期的な展望に立ったまちづくりの基本理念や将来都市像、目指すまちの姿を明らかにするとともに、**第五次多摩市総合計画第3期基本計画とこれまでの取組みを踏まえ**、市民とともにまちづくりを推進していくための指針となる基本構想とする。

## 1 意見分類にあたっての視点

### 論点 I : SDGs との関係性をいかに整理するか

- ・ 総合計画に掲げる政策や施策を 17 の目標（または 169 のターゲット）と紐づける方法が一般的。
- ・ ただし、SDGs の目標やターゲットは相互に作用し補完しあう要素を含んでおり、個々の政策や施策の目標達成への貢献度がわかりにくい。
- ・ 「健幸まちづくり」などの横断的な取り組みは、単一の目標と紐づけることが困難。

### 【委員意見】

- ・ 「地球環境の問題は横軸ではなく土台」

## 1 意見分類にあたっての視点

**論点Ⅱ：5つの「社会のあり方の変化」、特に従来の「まちづくりの視点」に対して横断的な取組みである「環境共生型都市を目指して」、「健幸都市・地域共生社会の実現を目指して」を、基本構想にどのように取り込むか**

### 【委員意見】

- ・「健幸まちづくりは将来にわたるフレーズ」
- ・「多様性と共生が尊重される多面性なまち」
- ・「誰もが健康になれるまち」
- ・「多摩市自治基本条例の精神を引き継ぐ」

### (仮説)

➡論点Ⅰ・Ⅱについて、レジリエンス研究所の所長が考案した「SDGsの概念」を表す構造モデルである「ウェディングケーキモデル」に重ねることで解決できないか？

## 1 意見分類にあたっての視点

【参考】ウェディングケーキモデルについて

- SDGsの17の目標は「環境」、「社会」、「経済」の3階層に分類することができる
- 3つの階層は、それぞれに独立しているのではなく、密接に関係している
- 3階層の頂点は、SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」。



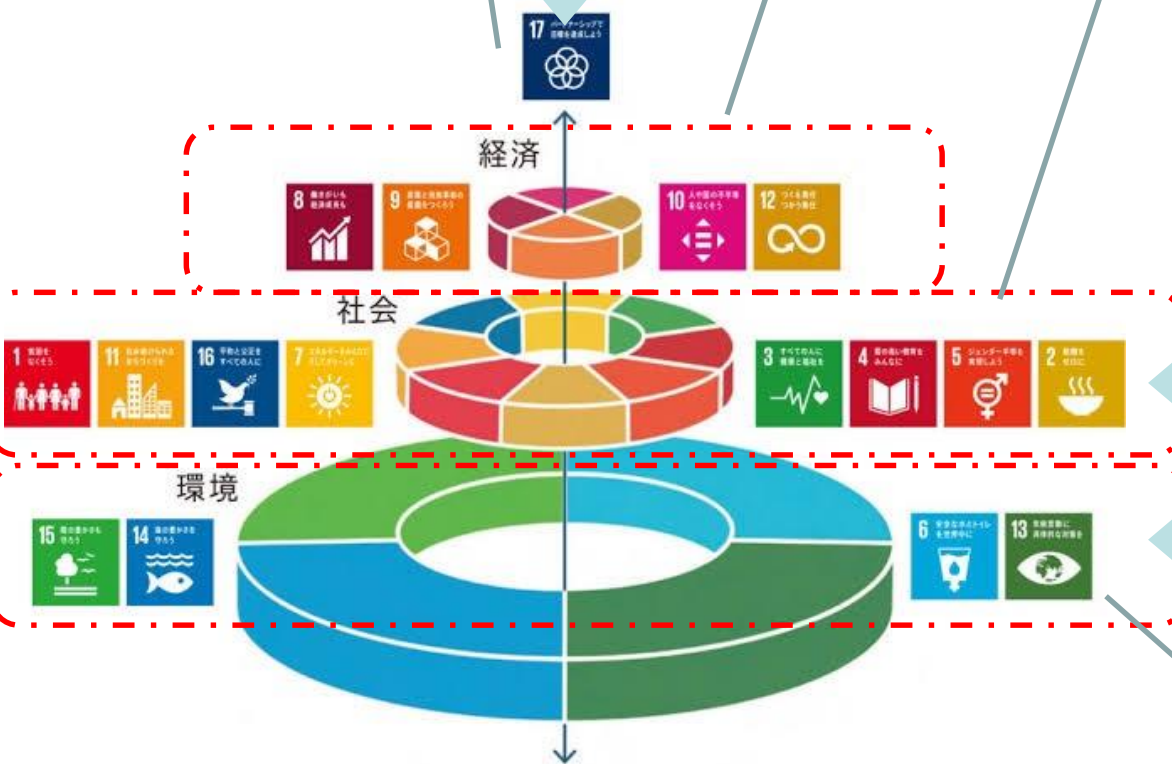
## 2 多摩市版の「ウェディングケーキモデル」イメージ

【主な分野】  
コミュニティ、市民活動

自治基本条例  
▼  
地域共生社会  
▼  
地域協創

【「経済」領域の主な分野】  
産業振興、雇用、観光、**廃棄物**

【「社会」領域の主な分野】  
子育て・子育て、学校教育、健康、医療、  
介護、福祉、生涯学習、**社会教育**、文化、  
都市づくり、住宅、交通



健幸まちづくりの更なる前進

環境共生型都市  
(関連：気候非常事態宣言)

【「環境」領域の主な分野】  
環境、防災、**下水道**